家庭数配付

令和8年(2026 年)9月 30 日

保護者の皆様へ

札幌市立もみじの丘小学校
校　長　松 澤 晃 二

全国学力・学習状況調査から

仲秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に対し、ご理解とご協力を賜りまして深く感謝申し上げます。

さて、今年度4月に6年生が実施しました「全国学力・学習状況調査」における結果につきまして、本校の概要・課題等の分析結果をご報告いたします。結果を踏まえ、今後も指導方法等の工夫改善を図って参ります。6年生の各ご家庭におかれましては、8月に配付しました個人票の結果と共にご覧いただき、ご家庭での学習に活用いただけますようご協力の程お願いいたします。

【小学校国語】 教科に関する調査結果概要及び改善の方向等について

	本 校 の 概 要	今回の調査における課題	改 善 の 方 向
国語	**【内容】** **知識及び技能** **「言葉の特徴や使い方に関する事項」** ◇全国平均とほぼ同程度であるが、「話や文章の種類とその特徴について理解すること」の正答率は全国平均を上回っている。 **「情報の扱い方に関する事項」** ▼全国平均を下回っている。 **思考力、判断力、表現力等** **「話すこと・聞くこと」** ◇全国平均とほぼ同程度であるが、「相手に伝わるように、理由や事例を挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること」の正答率は全国平均を上回っている。 **「書くこと」** ▼全国平均を下回っている。 **「読むこと」** ▼全国平均を下回っている。	**➢学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。** **➢比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。** **➢考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解すること。** **➢資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。** **➢筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。** **➢目的に応じて、必要な情報を見付けること**	➢同音や同訓の漢字に注意し、言葉の意味を考えて文の中で正しく使う学習の充実。 ➢実際に話したり聞いたりする中で触れてきた、比喩や反復、倒置などの表現の工夫についてまとめて整理する学習活動の充実。 ➢複雑な事柄を分けて捉えたり、多様な内容を分類したりする際に、短い語句で端的に表したり、図で表しながら考えをまとめたりする学習活動の充実。 ➢実際の話合いの場面を具体的に想定し、目的や意図に応じて話す内容や質問を分類、関係付けていく学習活動の充実。 ➢書く目的や意図を明確にし、条件に合わせて詳しく書くとともに、図表を用いるなど、必要な場合を判断しながら描き表し方を工夫する学習活動の充実。 ➢読む目的を明確にし、筆者の考えや文章の中で挙げられている事例、読み手自身の経験など、複数の情報を取捨選択・整理・再構成しながら考える学習活動の充実。

【小学校算数】 教科に関する調査結果概要及び改善の方向等について

	本 校 の 概 要	今回の調査における課題	改 善 の 方 向
算数	**【領域】** **「数と計算」** ▼全国平均を下回っているが、「単位分数の個数に着目し、数直線上の1を表す目盛りを捉えること」の正答率は全国平均を上回って入る。	➢**異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述できること。** 例）7/3と7/4のどちらの方が大きいかを判断し、その理由を書く。	➢分数の加法や減法の計算の仕方を分数の意味や大きさに着目して考える活動の充実。
	「図形」 ▼全国平均を下回っているが、「体積の意味について理解していること」の正答率は全国平均を上回っている。	➢**日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述できること。** 例）四つの箱のまとめ方によって宅配便の送料に違いがあるかを調べるために、直方体イの送料の求め方とその答えを書く。	➢直方体の構成要素である3つの辺に着目し、図や具体物を用いて条件を整理するとともに、求め方を式だけでなく、その式の意味を言葉で説明する活動の充実。
	「測定」 ▼全国平均を下回っている。	➢示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めることができる。 例）昔遊びの計画を見て、全体で使える時間の中で、「前半」に使える時間は何分かを書く。	➢示された情報を基に、全体と部分の関係に着目して、条件に合う数量を求めることができるようにする学習活動の充実。
	「変化と関係」 ▼全国平均を下回っているが、「単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商からどちらの方が混んでいるのかについて判断できること」の正答率は全国平均をやや上回っている。	➢百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めることができる。 例）イシガメ 14 匹が動物園全体のカメの 20%に当たるときの、動物園全体のカメの数を求める。	➢問題場面から、基準量、比較量、割合の関係を捉えることができるようにする学習活動の充実。その際、何が基準量で何が比較量にあたるのかを的確に把握し、計算に結び付ける。
	「データの活用」 ▼全国平均を下回っている。	➢示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述できる。	➢資料を分類整理する際に、落ちや重なりがないか調べたり、集計に当たって誤りがないか確かめたりする学習活動の充実。その際、各表の数値の妥当性を確認する活動を取り入れる。
	※いずれの領域においても、記述式の問題における無回答率が全国平均より上回っている。		

【児童質問紙調査の結果】　（どちらかといえば）している（当てはまる）という回答の割合から

児童質問紙調査の結果

■全国と本校児童を比較して、全国平均を上回っている質問

○学校や勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか。

○昼休みや放課後に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室にどれくらい行きますか。（週に１回以上行く児童の割合）

○あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思いますか。

○あなたは自分がＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器を使って学校での活動でプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか。

■全国と本校児童を比較して、全国平均を下回っている質問

▼毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

▼毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。

▼自分には、よいところがあると思いますか。

▼自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。

見解

＊睡眠時間の乱れは、朝の準備や朝食時間に影響し、登校後の活動への意欲や集中力の低下につながることが懸念されます。テレビやゲーム、パソコン、スマーフォン等の使用時間や宿題、家庭学習の時間などを含めた放課後の過ごし方の見直しなど、家庭と連携し、規則正しい生活習慣の定着を図ります。また、家庭での学習習慣が定着するように、『家庭学習の手引き』を配付し、各学年で定着しておきたい学習内容や目安となる学習時間を示しております。ご家庭でも、お子さんのよりよい学習の充実のために、家での学習について話し合う機会をもっていただきますようお願いいたします。

＊「自己承認」「他者への承認」「他者からの承認」による『相互承認の感度』を高めるために、結果だけでなく、努力や工夫、思いやりのある行動を具体的に認めることや、学習や生活の振り返りを通して、自分の成長や変化に気付かせる関わりが効果的であると考えます。学習場面においては、互いのよさや考えを伝え合う機会の充実と異なる意見を尊重しながら学びを深める対話的な学習活動を推進します。ご家庭でも引き続き、お子さんの日常のがんばりや成長、思いやりのある行動を具体的な言葉で伝える等の関わりをお願いいたします。

＊学習活動においてICT機器を活用する力が付いてきたのは、各学年の学習活動での活用とタブレット持ち帰りによる家庭での活用を継続的・段階的に進めてきた成果だと思われます。また、他者の考えを聞く力や自分の考えを伝える力が付いてきたのは、「伝え合う活動」を様々な学習活動の中で取り入れてきた成果だと思われます。今後は、他者の意見を聞いて考えを広げたり、異なる意見を基に新たな考えを生み出したりするために、対話によって思考を再構築するような協働探求場面の充実を図ります。

『課題点』として挙がっている項目につきましては、本校全体の課題として捉え、もみじの丘小学校での6年間の学びの積み上げを通して改善を目指していきます。学習習慣・生活習慣ともに向上していけるよう、ご家庭と協力して進めて参りたいと考えております。今後とも、本校の教育活動に対するご理解とご協力をよろしくお願いいたします。